

平成28年度 連携評価

友愛会南部病院 緩和ケア病棟

基本情報

性別	男性	12	
	女性	52	
年齢	20代	14	
	30代	23	
	40代	18	
	50代	8	
	60代	1	
	その他	0	
職種	MSW	47	
	退院調整看護師	7	
	事務	2	
	その他	5	
経験年数	現在の病院	1年未満	1
		1-3年	15
		3-5年	12
		5-10年	17
		10年以上	19
経験年数	卒後の通算	1年未満	1
		1-3年	2
		3-5年	14
		5-10年	16
		10年以上	31

回答施設

12

回収票

72

有効回答票

64

項目

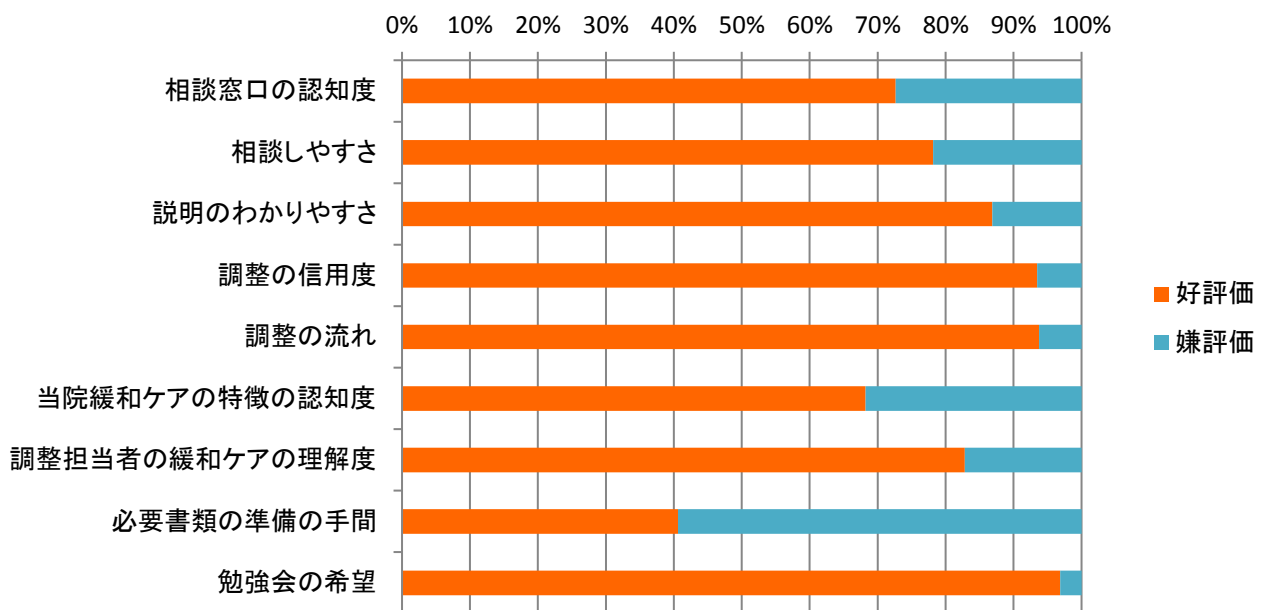
	よく当てはまる	まあ当てはまる	それほど当てはまらない	全く当てはまらない
問1	51	7	4	2
問2	11	24	22	7
問3	40	18	7	0
問4	46	14	3	0
問5	45	14	4	0
問6	43	15	2	1
問7	40	16	4	1
問8	41	16	4	0
問9	41	14	5	0
問10	24	22	14	1
問11	8	20	23	11
問12	17	34	9	2
問13	5	38	18	3
問14	7	45	10	2
問15	12	42	8	2
問16	23	36	5	0
問17	32	29	3	0
問18	11	27	20	6
問19	37	25	1	1

- 問1 相談窓口の担当者の名前を知っている
- 問2 相談窓口の担当者のキャラクターを知っている
- 問3 話し方や説明の仕方に親近感を覚える
- 問4 調整に関する問い合わせをしやすい
- 問5 問い合わせた後、相談して良かったと感じる
- 問6 折り返しの電話がきちんと来る
- 問7 必要書類などの確認をした際の説明が分かりやすい
- 問8 確認事項の説明などが分かりやすい
- 問9 家族面談の報告がきちんと来る
- 問10 待機の進捗状況が分かりやすい
- 問11 転院以外の相談をすることがある
- 問12 ダメでもととの相談をすることがある
- 問13 南部病院緩和ケア病棟の特徴を知っている
- 問14 患者様・ご家族に緩和ケア病棟の療養方針を説明できる
- 問15 院内他職種に緩和ケア病棟の調整条件を説明できる
- 問16 緩和ケア調整の流れを知っている
- 問17 調整の際の必要書類が分かる
- 問18 緩和ケアシートを揃えるのは大変だとよく言われる
- 問19 調整に関わる課題や事例検討などの勉強会が病院間であれば参加したい
- 問20 自由記載

問1～問19

分析・考察

評価項目	設問	好評価	嫌評価
相談窓口の認知度	1 2	72.7%	27.3%
相談しやすさ	3 4 11 12	78.2%	21.8%
説明のわかりやすさ	7 8 10	86.9%	13.1%
調整の信用度	5 6 9	93.5%	6.5%
調整の流れ	16 17	93.8%	6.3%
当院緩和ケアの特徴の認知度	13	70.5%	32.8%
調整担当者の緩和ケアの理解度	14 15	82.8%	17.2%
必要書類の準備の手間	18	40.6%	59.4%
勉強会の希望	19	96.9%	3.1%



- ・好評価が90%以上 ; 「調整の信頼度」「調整の流れ」「勉強会の希望」
日程調整や面談内容の連絡、報告の迅速さ、調整の流れの明確な提示をしている
→これまでの取り組みを継続する / 病院間の勉強会を企画していく
- ・好評価が80%以上 ; 「説明のわかりやすさ」「調整担当者の緩和ケアの理解度」
原則とともに例外についても検討する姿勢で、具体的な説明を努めている
→調整担当者が変わることもあるので、これまでの取り組みを継続する
- ・好評価が70%以上 ; 「相談窓口の認知度」「相談しやすさ」
好印象を与える態度や相手の立場に立った対応を心がけ、関係性を良好に保てるよう努めている
→調整場面だけでなく渉外活動や研修などの機会も活用し、関係性の向上を図る
- ・好評価が60%以上 ; 「当院緩和ケアの特徴の認知度」
渉外活動を昨年より定期的におこなっている 調整の際に説明する
→他施設との際を具体的にわかりやすく提示する 例) 外科的処置対応可能、ブロック注射など
- ・好評価が60%未満 ; 「必要書類の準備の手間」
緩和ケアシートなどの準備に時間がかかる際には面談日程調整しながら揃うのを待つ
→緩和ケアシートの項目の改善などの取り組みを他の緩和ケア病棟とともに検討していく

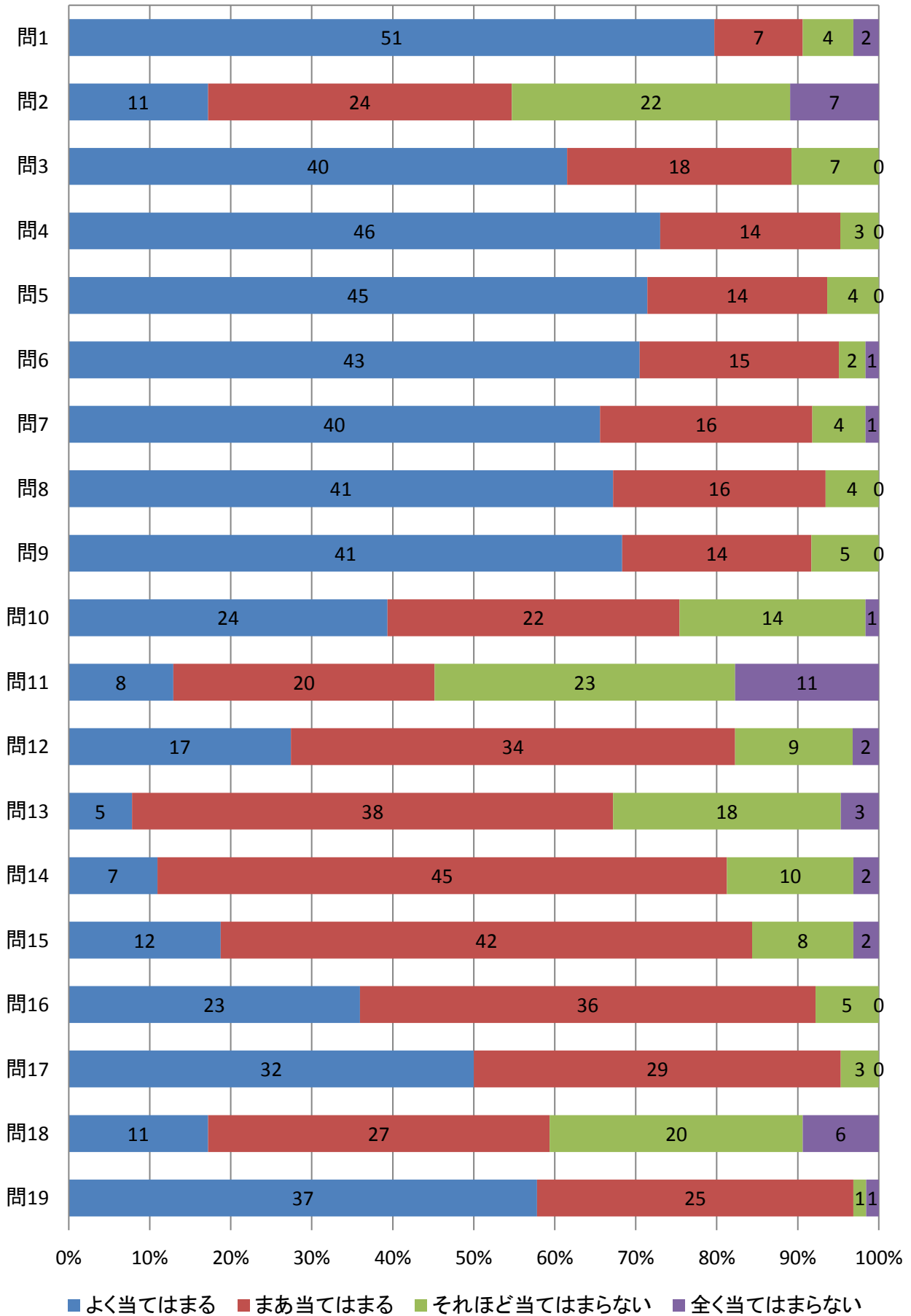
問20 自由記載

- ・持参してもらったパンフレットを活用して患者家族へ説明している
- ・転院後のケアの様子を教えてください。
それが分かると主治医や病棟へフィードバックでき、今後の対応について共有ができる(2)
- ・いつも丁寧な対応に感謝している
- ・緩和ケアの説明について主治医や病棟への理解を深める必要をととも感じている
- ・いつも丁寧な対応で助かっている
- ・転院後の状況を文書でもらいありがたい。主治医や病棟などと振り返りをしている
- ・相談の対応に問題はない
- ・定期的に顔合わせができればいい
- ・紹介した患者が永眠された後きちんと返書が届くので助かる。他の病院からは届かない。
- ・場所的に遠いかと思いつながら紹介した家族からの感想が「対応が良かった、雰囲気良かった」というものがあり、安心して紹介できる
- ・いつも丁寧な対応でありがたい
- ・地理的に遠くても面談に行った家族が転院することを快く受け容れている印象がある
- ・たとえ転院とならなくても面談が家族のケアとなっているように感じる
- ・いつも丁寧な対応で助かっている
- ・転院後の状況について退院後でいいので、報告してもらいたい。
主治医や病棟看護師なども気にしていることがよくある
- ・いつも丁寧に相談に乗ってもらいありがたい
- ・県内に緩和ケア病棟が少なく、難しいケースの相談や複数回の家族の見学対応も快く引き受けてもらい感謝している
- ・様々な内容に気軽に相談に乗ってもらい大変ありがたい
- ・患者自身の人生が有意義なものになるよう協力して支援していきたい
- ・相談したケースは少ないが、転院することができて家族も喜んでた
- ・転院待機の期間も在院日数が延びて困ることがあるため、病院以外の待機場所の相談にも乗って欲しい
- ・調整前の問い合わせにも丁寧に説明してもらった印象がある
- ・当院での面談で不足している点をフィードバックしてもらい大変参考になっている
- ・看護師とMSWの相談スキルの違いなど勉強したい
- ・転院前後の麻薬処方内容の変化や症状コントロールの内容などをケースを通して共有できる機会をぜひ作りたい
- ・身寄りの無い方の受け入れについて相談したい
- ・面談で家族の想いを丁寧に聞いてもらい感謝している
- ・いつも迅速な対応に心から感謝している
- ・スムーズな連携を取れていると思う

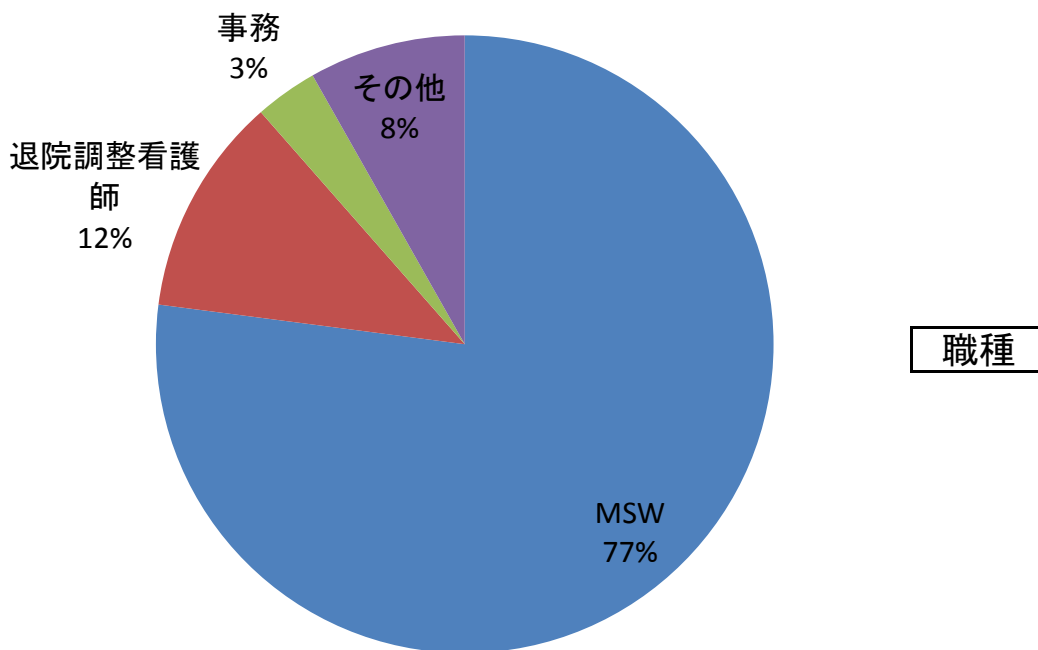
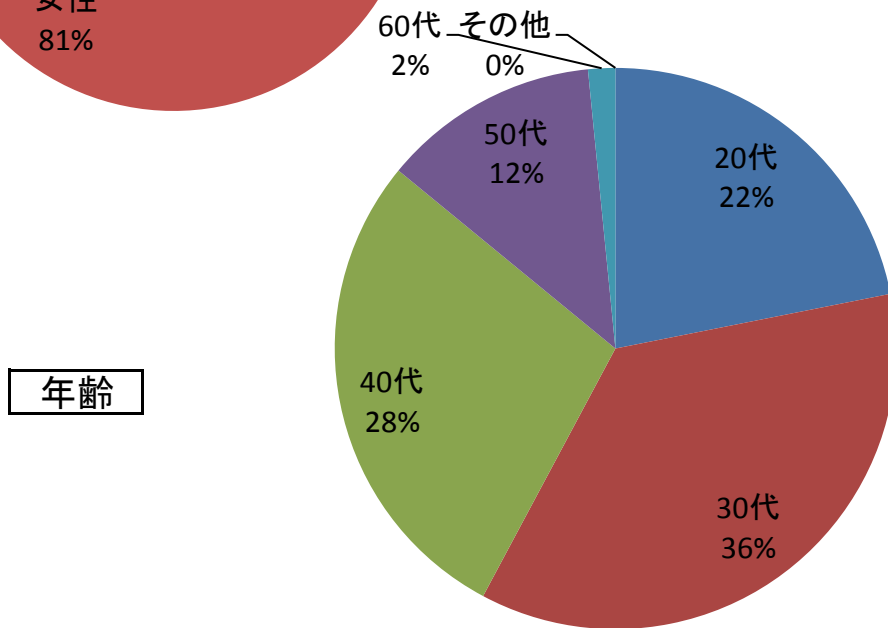
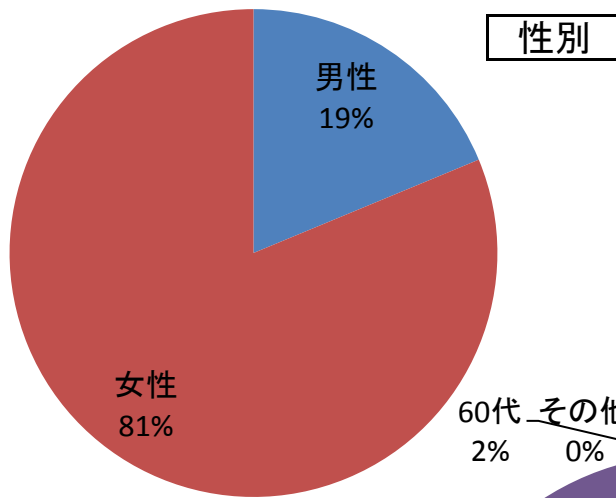
分析・考察

- ・当院での症状緩和とケアの内容についてフィードバックしてもらいたいという希望が多い
- ・病院間の勉強会の開催希望があり、具体的な日程調整も希望している病院もある
- ・家族面談での様子や対応を細かく報告することで、紹介元での関わりにも活かされている
- ・調整前の問い合わせなども気軽に相談できるという感想が多い
- 問い合わせや調整依頼には「相談・紹介してもらい感謝している」ことをその都度伝えている
- 退院後の電話連絡は徹底できているが、主治医からの返書送付がもう少し
- 身寄りの無いケースや待機日数が長くなりそうな時の相談などのニーズにも可能な限り対応する

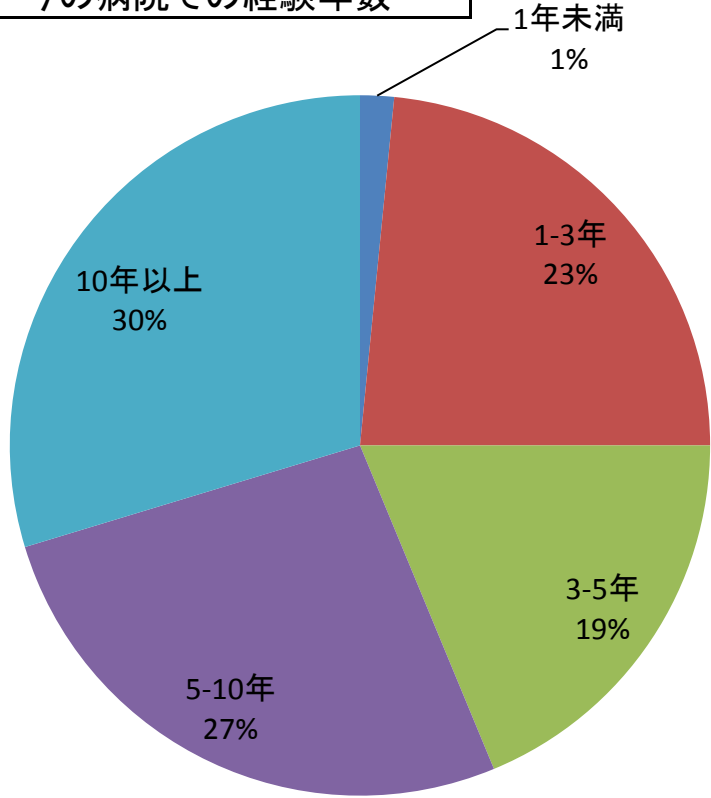
問1～問19の回答一覧



基本情報



今の病院での経験年数



卒後の経験年数

